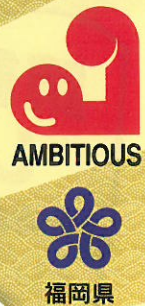




アンビシャス

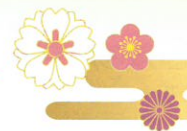
通信



Vol.86 | 2020 Winter



新年あけましておめでとうございます



「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ(アンビシャスな)たくましい青少年の育成」を目指して平成13年にスタートした「青少年アンビシャス運動」は、現在1,790を超える団体の皆さんに参加していただいております。運動の輪が大きく広がっています。アンビシャス広場をはじめとする子どもの居場所づくりや多彩な体験活動など、長年にわたり熱心に取り組んでいただいている参加団体の皆さんの御尽力に心から感謝申し上げます。

青少年アンビシャス運動の取り組みにより、子どもたちには積極性や自主性、思いやりの心が育まれるなど、好ましい変化が現れています。また、この運動で育った子どもたちが大学生や社会人となり、ボランティアとして運動を支える立場になるといった好循環も生まれているところです。

昨年、青少年アンビシャス運動応援大使である宇宙飛行士の若田光一さんから福岡県の子どもたちに向けて、「皆さん一人一人は誰にも負けない素晴らしい力を持っています。自分の興味の対象は何か、自分ら

しとは何かを見つけ、皆さんの夢とその実現のための明確な目標を描いてください」という力強い応援のメッセージをいただきました。また、それぞれの夢の実現に取り組む過程で、例え失敗があったとしても、「失敗を教訓として前進し、皆さんの夢をつかんでください。失敗は辛いですが、それを克服し乗り越えようと努力している時が一番成長しているときなのです」と、失敗を恐れず成長の糧にすることの大切さを教え、子どもたちに勇気を与える言葉をいただきました。

次代を担う子どもたちは「社会の宝」です。大きな可能性を秘めた子どもたちには、失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジし、自分の好きなこと、興味が持てることを見つけたら、それを長く続けてほしいと思います。

地域で子どもを育てる取り組みに関わる皆さんと共に運動の輪をさらに広げ、子どもたちが自らの思い描く夢や目標に向かって挑戦し続けることができる社会を共につくっていきましょう。

青少年アンビシャス運動
推進本部長

福岡県知事 小川 洋



飛ばそう夢をのせて



青年リーダー活躍中!



ボランティアの方と一緒に餅つき



息を合わせて!



若田さんと熱くディスカッション

